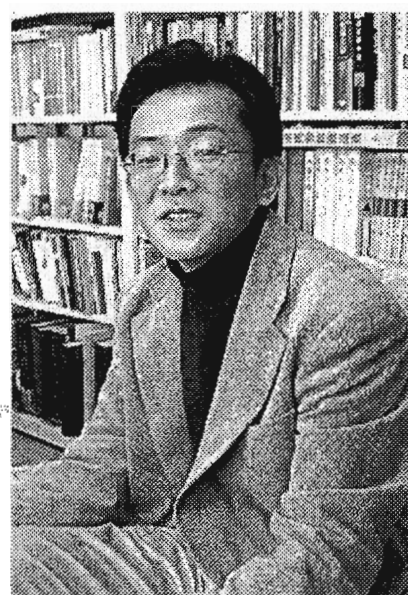


広範な文献の考証による中国共産立史(二〇〇一年)で中国共産党の党史研究で知られる京都大人文学研究所の石川禎准教授(44)Ⅱ写本からの影響や思想の流れについて真Ⅱがこのほど、若手研究者の優れた業績に贈られる本年度の日本学術振興会賞を受賞した。「社会主義文化の研究を進めたい」とさらなる意欲を見せる。

石川准教授は、著書「中国共産党成るのは光栄なこと」という。「政治の動力」文化に注目



今年北京オリンピックが
あり、中国への関心はますます高まりそう。石川准教授は「日本も例外ではないが、歴史の記述は社会や政治と密接に結びついている。『記念日』の行事や活動など、政治の動力となる文化にも迫りたい」と話す。